

「キャリア」の意味や、高校生活でさらに伸ばしてほしい能力（基礎的・汎用的能力）、「キャリア・パスポート」のねらいを端的に示すことで、教職員、生徒、あるいは保護者と共通認識をもつ。

高校生のみなさんへ

人は、他者や社会のとのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きています。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものです。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもありますが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択や創造を積み重ねながら取り組んでいます。

人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものです。

このように、人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところです。

これからのますます変化の激しい社会の中で、主体的に自らの可能性を発揮し、よりよい社会や世界と幸福な人生の創り手となっていくために、みなさんには、キャリア形成の視点から、以下の能力をさらに伸ばしていくことが求められています。

《高校生活でさらに伸ばしてほしい能力》

①【人間関係形成・社会形成能力】

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

《例》

- ・友達や家の人の意見を聞くとき、相手の立場を考慮して、その人の考えや気持ちを受け止めようとする。
- ・自分の考えや気持ちを整理し、相手が理解しやすいよう工夫して、伝えようとする。
- ・人と何かをするとき、自分がどのような役割や仕事を果たすべきか考え、分担しながら、力を合わせて行動しようとする。

②【自己理解・自己管理能力】

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

《例》

- ・自分を振り返り、長所や短所を把握して、良いところを伸ばし、悪いところを克服しようとする。
- ・自分がすべきことがある時に、喜怒哀楽の感情に流されず行動を適切に律し、それに取り組もうとする。
- ・不得意なことでも、自ら進んで、取り組もうとする。

③【課題対応能力】

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力

《例》

- ・調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を収集し、信ぴょう性が高く、かつ、必要な情報を取捨選択しながら活用できる。
- ・何か問題が起こった時、次に同じような問題が起こらないようにするために、原因を調べ、課題を発見し、解決のための工夫ができる。
- ・何かをする時、見通しをもって計画し、評価・改善を加えながら行動ができる。

④【キャリアプランニング能力】

「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

《例》

- ・学ぶことや働くことの意義について考えたり、様々な働き方や生き方があることを理解したり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしている。
- ・自らの将来について具体的な目標をたて、社会の現実を視野におさめながら、その実現のための方法について考えている。
- ・将来の目標の実現に向けて具体的な行動を起こしたり、それを振り返って改善したりする。

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの能力を自ら成長させることを意識してほしいと思います。

そして、この「キャリア・パスポート」で、高校生活を見通したり振り返ったりしながら、学びの履歴を積み重ねていくことが、みなさんの今後の人生を創っていくための「道しるべ」になることを願っています。

一年を見通し、振り返る

各学年（卒業年度を除く）について統一の様式を想定。

年

○ 1年のはじめに、自分のどんな力を伸ばしたいかを考えよう。 記入日 年 月 日
 （「高校生のみなさんへ」の中にある「高校生活でさらに伸ばしてほしい能力」等を参考にしてください。）

①人間関係形成・社会形成能力	②自己理解・自己管理能力	③課題対応能力	④キャリアプランニング能力
考える際には、「高校生のみなさんへ」を見返し、基礎的・汎用的能力や各学校が整理した身に付けさせたい力を意識しながら、具体的に設定することが重要である。		4つすべてについて、伸ばしたい力を設定することが難しい場合も想定されるため、生徒の実態等に応じて、各校で整理した身に付けさせたい力なども参考に、特に意識して伸ばしたい力をしぼりこむことも考えられる。	
<理由>	<理由>	<理由>	
なぜその力を伸ばすことにこだわるのかを今一度振り返り、整理することが大切である。			

○ 1年間を振り返って、一番心に残っていることをまとめよう。 記入日 年 月 日

(授業)	なにが	→	どうして(理由)
(行事)		→	
(部活等)		→	

○ 1年間を振り返って、自分自身の成長をまとめよう。

成長できたところ	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
成長したいところ				

目標(伸ばしたい力)の設定と同様の理由から、生徒の実態等に応じて、しぼりこんだ意識して伸ばしたい力について振り返りを行うことも考えられる。

○ 将来の自分自身を想像しよう。

1年後の私	どんなふうになりたいか	そのために今から何をするか
30歳の私		

()からのメッセージ

友人、保護者、部活動の顧問等、メッセージをもらう相手を生徒が主体的に選ぶという工夫も考えられる。

クラス内の人間関係が上手くいっていることが前提になるが、友人からのコメントも大きな効果が期待できる。

先生からのメッセージ

先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

コメントはもらわなくとも、面談等で本紙を保護者に見てもらうことで、教員・保護者が共通の生徒理解を図るといった活用も考えられる。

卒業年度を見通し、振り返る

卒業年度については、将来の目標の実現に向けて具体的な行動を起こしたり、それを振り返って改善したりすることを特に意識した様式としている。

○ 1年後の自分を想像しよう。

記入日 年 月 日

どんなふうになっていたいか（目指す進路や目標）

次の年度（高等学校の次の段階）の4月を見据えたうえで、年間の取組を計画する。

○ 1年後に向けて、いつ、何に取り組むかを考えよう。

4月	7月	9月	11月	1月	3月	4月
	小中高を振り返るシートの作成	就職試験	専門学校入学試験	センター試験（大学入学共通テスト）	卒業	

社会に出て仕事を行う上でも、このように目標を設定し、目標達成のための手立てを検討のうえ実行し、振り返りを行うことが重要であることを意識させることが大切である。

取組の記載はあくまで例示であり、例示以外の取組も記載する。

記入日 年 月 日

具体的に何に取り組むか	どのように取り組むか	進捗状況確認（9月頃）
	<p>年度の途中に一度、設定した目標や取組の状況を確認し、必要に応じて目標や取組の修正を行う。</p> <p>なお、修正が必要な場合には、余白部分に後から自分自身が見返しても分かるように記載すること。</p>	

○ 1年間の振り返りをまとめよう。

記入日 年 月 日

何に取り組んできたか	どのような点がよかったと思うか（成長できたと思うか）

○ 卒業後の自分について、どんな自分になりたいか（将来どんな生き方をしていきたいか）を考えよう。

先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと
------------	----------------------------

社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』について

他の学校行事とは異なり、働くことに関する活動は別様式を設定。

【事前】

記入日 年 月 日

「働くこと」についての今の考え（「働く」ということに、どのようなイメージや考えをもっているか）

受入先

体験先選定の理由

どうしてその受入先に行くのか、その理由を自分自身の言葉で整理することが重要である。

社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』を通じて、どんなことを得たいのか

社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』を通してなりたい自分のイメージ（どう成長したいのか）

記入日 年 月 日

【事後】

社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』を通して学んだこと（気づいたこと、よかったこと、反省したことなど）

受入先から自分の将来に向けてどのようなアドバイスをもらったか

「働くこと」についての今の考え（社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか）

事前・事後に「働くこと」そのものに関する同じ問いに向き合ってもらうことで、生徒自身が自己の変容に気づいてほしい。

今、考えている自分の進路（〇〇に進学・〇〇業に就職・迷っている）とその理由

辛口のコメントでも、指摘は本人にとっては早急に改善が必要な点であり、貴重なものとなる。

「迷っている」のは、体験が揺さぶりをかけている証拠である。何をどう迷っているのか、心の迷いを整理することが大切である。

受入先からのアドバイス

学校の外の方からの目線で、良いことだけでなく、改善すべき点についてもコメントをもらうことで、生徒自身が今後の自己の在り方を考えるきっかけにしてほしい。

先生からのメッセージ

受入先からのアドバイス・先生からのメッセージを読んで考えたこと

について（学校行事等）

体育大会や文化祭、修学旅行、ボランティア活動等、生徒の伸ばしたい力の育成に重要な行事等を整理する様式として設定。

年

【事前】

記入日 年 月 日

〇〇で特に心がけて取り組もう（自分なりに努力してみよう）と思っていること

そう思った理由

そのために事前に準備すること

【事後】

記入日 年 月 日

自分なりに取り組めたこと、よかったと思うこと

今回の体験・経験で最も心に残っていること

<その理由>

自分が成長したと思うところ

今回の体験・経験を踏まえて、今後に生かしていきたいところ

（ ）からのメッセージ

例えば、ボランティア活動などについては、活動先の方からコメントをもらうことも考えられる。また、学校行事では、特に共に活動を行った友人からメッセージをもらうことが、生徒本人にとって大きな効果を与えることも期待できる。

先生からのメッセージ

メッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

H 番 氏名

<h2 style="margin: 0;">「総合的な探究の時間」（課題研究等）について</h2>	<h1 style="margin: 0;">年</h1>
--	-------------------------------

ここでの「課題研究等」とは、専門学科において、「総合的な探究の時間」の代替となるものを指しています。

【事前】

記入日 年 月 日

「探究」テーマ（「課題研究」テーマ）	
テーマ選定の理由	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e6f2ff;"> 他の授業や学校行事とは別に、「総合的な探究の時間」の取組について、見通しを持たせ、振り返りを行う様式として設定。 </div>
取組を通じて特にどんな力を伸ばしたいか	<理由>

特に、事後にまとめた内容については、大学等に提出する活動報告書の内容にも反映できる。

【事後】

記入日 年 月 日

探究した内容の概要（取組の流れや取組を通じて新たにわかったこと など）	
取組の過程で感じたこと・考えたこと（うまくいったことやそのときの気持ち、失敗したことやそこから学んだこと など）	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> 事前に掲げた目標（どんな力を伸ばしたいか）に対して、事後に掲げた目標についてどうだったのかをしっかりと振り返ることが大切である。 </div>	
取組を通じてどんな力が伸ばせたか（成長したところ）	探究活動の結果、新たに生まれた疑問や探究テーマ等
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> 調べたこと、活動したことをまとめて終わりではなく、「探究すること」が新たな問いの発見につながることを意識してほしい。 </div>	
先生からのメッセージ	メッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

学期を見通し、振り返る

各学年（卒業年度を除く）の各学期について統一の様式を想定。

年 学期

記入日 年 月 日

○今学期の間に、特に心がけて取り組もう（自分なりに努力してみよう）と思っていることをまとめよう。

<p>(授業) 何に取り組むか</p> <p>全ての教科を網羅的に書くものではない。どの教科を書くかで志向が表れる。</p>	<p>どのように取り組むか</p>
<p>(学校行事)</p> <p>事前指導において、特に今学期に何があるのかを生徒に周知し、イメージを持たせる必要がある。</p>	
<p>(部活動 校外活動 家庭 資格等)</p> <p>生徒の経験や気づきに対する評価であってはならない。教師からのメッセージは、あくまでも、生徒の「心の動き」を生み出すための一つのきっかけである。</p>	<p>あえて「保護者からのメッセージ」を入れないことで、中学校段階との違いを打ち出している。</p>
<p>先生からのメッセージ</p> <p>教師が生徒の反応を予期しながら言葉をかけることに、「教師が対話的に関わる」ことの意義がある。</p>	<p>先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと</p> <p>生徒の学びや気づきの深まり・広がり記入する欄として位置付けている。</p>

ホーム担任以外、例えば部活動顧問などからのメッセージも考えられる。

記入日 年 月 日

○今学期を振り返って、自分なりに取り組んできたことや、よかったと思うことをまとめよう。

<p>(授業) 何に取り組んできたか</p>	<p>どのような点がよかったと思うか</p>
<p>(学校行事)</p>	
<p>(部活動 校外活動 家庭 資格等)</p>	

先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと
------------	----------------------------

H 番 氏名

小学校から高等学校までを振り返る

進路指導での活用も考慮し、作成時期は卒業年次の7月ごろを想定。

○自分自身のこれまでを振り返って、「足跡」をまとめよう。

記入日 年 月 日

(小学校)	一番に残っていること		自分自身の成長にどのように影響したか
(中学校)	<p>小・中学校で自ら作成した「キャリア・パスポート」も参考にしながら、現在の自分が改めてこれまでの自分の「足跡」を整理し直すことで、取り上げる事柄は小・中学校と同じであっても、より深い振り返りができていることを実感してほしい。</p>	→	<p>本シートは、就職・進学に向けた志願理由書等の作成に当たってのラフスケッチ的な位置づけとして活用できる。</p>
(高等学校)		→	<p>高校生活でさらに伸ばしてほしい能力として示した4つを手がかりに、自分の強みをより具体的に整理することにより、それらの能力が発揮できる卒業後の進路や生き方を見通していくことにつなげてほしい。</p>

○自分自身の「現在（今）」と「将来」についてまとめよう。

	①人間関係形成・社会形成能力	②自己理解・自己管理能力	③対応能力	④キャリアプランニング能力
自分のよさ・強み				
成長させたいところ				
卒業後の進路				
将来、社会にどのように貢献していきたいか				
将来、どういう生き方をしていきたいか				

先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと
------------	----------------------------